

プログラム名 (40字以内)	現地で学ぶ石垣島の現在		
団体名/所属	教養学部(前期課程)理科三類		
活動区分	フィールドワーク体験活動、農林水産業などに関わる地域体験活動、ボランティアなどの社会貢献活動	希望する選考方法	書類審査後に面接
募集人数	7人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	2024/8/5(月)~8/9(金)	主な活動予定場所	石垣島
プログラム実施の目的	石垣島の豊かな自然、資源について理解をし、自然と文化の融合を通じて環境保護や地域貢献の意識を高め、海洋生態系や琉球文化に触れながら石垣島の行政や教育活動を行い、地方創生や持続可能な離島社会の重要性を学ぶ。		
具体的な内容(800字程度)	<p>沖縄県石垣島は、沖縄県に位置する日本の離島の一つで、人口は約4万人ほどである。この島は、沖縄本島から南西に約400キロ離れた位置にあり、観光地として知られる一方で、地域の経済活動や生活基盤が重要な役割を果たしている。経済活動は、主に観光業や農業、漁業に依存しており、特に観光業は重要な収入源となっている。人口の構成は、若年層が比較的多く、地域社会の担い手としての役割を果たしていることから、地域全体の活性化や持続可能な発展に向けた取り組みが行われており、地域の課題や可能性についての研究や議論が若者を中心に行われる場としても注目されている。また、持続可能な開発や観光資源の保全に関する課題も存在し、地域の自然環境や生態系の保護と観光需要のバランスを取ることが必要である。さらに、台風や洪水、地震などが島に影響を与える可能性があり、災害対策や防災意識の強化が求められている。また、昨今は石垣島に自衛隊基地が建設されたことで、防衛の面からも国内外から注目されている。</p> <p>このような石垣島での生活を体験しながら学び、地域社会全体での包括的な対策や持続可能な発展への取り組みを考えることが今回のプログラムである。地域の魅力や資源を活かしつつ、適切な人材の定着や地域経済の多様化、観光資源の保全、そして災害、防衛対策など、幅広い領域での対策をどうするか、行政や学校、民間企業と連携をとりながら体験を踏まえて学び、提案、交流をしていく。</p> <p>具体的な活動として、学生が島の経済や自然環境保護についての体験活動、海洋ごみ拾いのボランティア活動、高校生との交流、教育活動を行い、最終的に、今後の石垣島の目指すべき姿や課題について考えたことをレポートにする。</p> <p><活動例></p> <ol style="list-style-type: none"> ①島の行政、議員、市長との懇談(訪問実績あり) ②見学(エコ畜産、AI農業、サンゴ礁研究所、ユーグレナ工場等) ③町民や町内機関との交流会 ④体験活動・フィールドワーク(株式会社縄文企画、八重山SDGs協会 と協力して、現地の人々と海岸ごみ拾いボランティア活動) ⑤石垣市への観光人口を増やすための内容・方法を行政に検討 ⑥石垣市の高校生との交流(大学受験のための勉強相談等、八重山高等学校) 		
【総額】参加するための費用	75,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	15,000円		
【内訳】参加するための費用(交通費)	30,000円		
【内訳】参加するための費用(その他)	レンタルバス&ガソリン代 1人5,000円、食事代1日4,000円程度		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	なし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	https://drive.google.com/file/d/1b15mUX-Dq6T9a9QQLs5czHAviRPW8p92/view?usp=drivesdk		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加する		